

グローバル戦略（環境関係）～アジア環境行動パートナーシップ構想～ について

平成18年6月
環 境 省

1. グローバル戦略について

「グローバル戦略」は、平成17年6月に閣議決定された「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」（いわゆる「骨太の方針2005」）において、グローバル化への総合的かつ戦略的な取組を行うため、経済財政諮問会議において平成18年春を目途に取りまとめることとされたもの。

（参考）グローバル戦略の検討経緯

平成17年6月21日 「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」閣議決定

平成17年12月26日 「グローバル戦略の基本的視点」提示

平成18年5月10日 環境大臣が経済財政諮問会議に出席し、アジア環境行動パートナーシップ構想を提案

平成18年5月18日 「グローバル戦略」最終取りまとめ

2. アジア環境行動パートナーシップ構想とグローバル戦略

環境省としても、グローバル戦略へのインプットとして、とりわけアジアを射程に置いて世界に発信する政策パッケージを「アジア環境行動パートナーシップ」構想として取りまとめ、5月10日の経済財政諮問会議において環境大臣からプレゼンテーションを行った。この構想においては、我が国においてG8サミットが開催される2008年を念頭に、アジアから世界に環境保全のための6つのアクションを発信するために具体的な施策を準備していくことを提案している（別添資料「地球生態系との共生をアジアから」参照）。

この構想は、5月18日に最終取りまとめがなされた「グローバル戦略」においても大きく位置づけられている（裏面〈参考〉参照）。

<参考>「グローバル戦略」（平成18年5月18日経済財政諮問会議）（抄）

IV. 戦略的に取り組むべき施策と目標

今後、特に、（１）人材の国際競争力の強化、（２）産業の国際競争力の強化、（３）地域の国際競争力の強化、（４）対外政策のあり方と国際社会への貢献が重要である。具体的には、以下の目標のもとで対策を講じる。

4. 対外政策のあり方と国際社会への貢献

⑥我が国の得意分野や特徴を活かした世界をリードする援助政策

本年4月に設置された海外経済協力会議において、以下の点を踏まえ新たな基本方針を早急に審議し、策定する。

- 環境や省エネルギーなど我が国の得意分野に援助を更に重点化する。

⑦アジアにおける包括的な国際環境・エネルギー協力の推進

- アジアは環境・エネルギー運命共同体である。我が国がリードしてアジア諸国における包括的な国際環境・エネルギー協力を推進し、技術や制度のアジア標準の創出等を実現するため、例えば、アジア環境行動パートナーシップ構想や、アジアエネルギー協力戦略などに基づき、以下の施策について2010年までの工程表に沿って、取組を進める。

- ・アジア共同の環境危機情報システムの形成
- ・我が国の先進的な3R技術・システムの展開
- ・クール・ビズの取組をアジアに発信
- ・省エネルギーに係るアジア諸国の制度構築支援や技術の普及
- ・我が国の優れた太陽光発電（ソーラー）等をアジアに普及
- ・アジアにおけるバイオ燃料の持続可能な開発・普及
- ・環境問題、省エネルギー、再生可能エネルギーに係る人材の養成
- ・アジアにおける石炭のクリーン利用、生産・保安技術の普及